

南信濃地区防災計画



三日間

みんな

助け合おう！



南信濃地区自主防災会

平成 28 年 2 月修正

はじめに

我が国の防災計画は、国レベルの総合的かつ長期的な計画である「防災基本計画」と、地方レベルの都道府県及び市町村の「地域防災計画」があり、それぞれのレベルで防災活動が実施されています。

一方で、東日本大震災において、自助、共助及び公助がうまくかみあわないといった大規模広域災害後の災害対策がうまく働かないことが強く認識されました。

市町村の行政機能が麻痺するような大規模広域災害が発生した場合には、まずは、自分自身で自分の命や身の安全を守ることが重要であり、その上で、地域コミュニティでの相互の助け合いが重要になってきます。

その教訓を踏まえて、平成25年6月の災害対策基本法の改正では、自助及び共助に関する規定がいくつか追加されました。

その際、防災計画体系の中に、地域コミュニティにおける共助の推進のために「地区防災計画」制度が新たに創設されました（平成26年4月1日施行）。

この制度は、市町村内の一定の地区の居住者及び事業者（以下、「地区居住者等」という。）が行う自発的な防災活動に関する計画ですが、市町村地域防災計画の中に同計画が規定されることによって、市町村地域防災計画に基づく防災活動と地区防災計画に基づく防災活動とが連携して、共助の強化により地区の防災力を向上させることを目的としています。

また、地区居住者等が市町村防災会議に対して計画に関する提案（計画 提案）を行うことができることになっており、市町村防災会議には、それに対する応諾義務が課せられています。

飯田市においても市内各地区の当該計画の策定を進めており、南信濃地区においても地区内における事前の防災対策や地域防災力の向上を図るために、これまで具体的に明文化されていなかった防災対策について、南信濃地区防災計画として策定することとしました。

当計画では、

『三日間 みんなで 助け合おう！』

をスローガンに、地域に暮らす住民一人ひとりが協力して防災活動をはじめとした協力体制を構築することを示しています。

巨大地震などで甚大な被害が発生した場合は、消防車や救急車を含む行政機関や他の地区からの救援・支援・応援はすぐに期待できません。当地区の住民の力を終結し、なんとか三日間を助け合いながら乗り越えられれば、四日目ぐ

らいから行政機関の支援体制が整い、復興の道筋が開かれるのではないでしょうか？

そのためには、地区住民の皆さんの日頃の取り組みや災害発生初動時の対応が大切となります。事前に本地区区計画をご覧ください、地区がどのような取り組みを行っているか、自らの生活や災害発生時行動とどう関わるかをご確認いただき、災害に備えて、みなさん自身でできることから取り組んでいただきたいと思います。

南信濃自主防災会

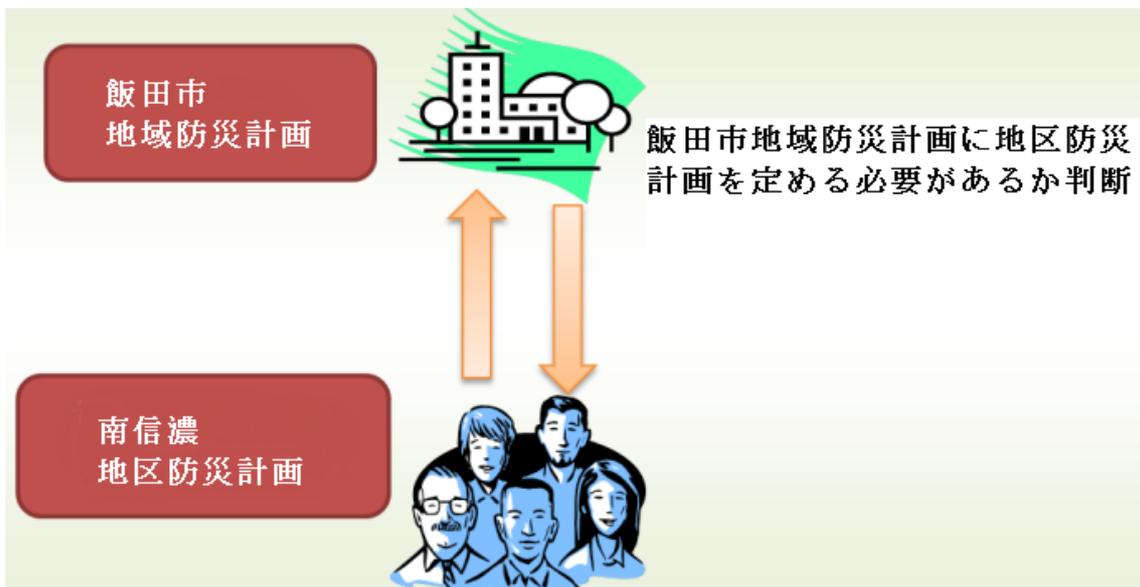
(参考)

【防災計画の全体像】

防災計画－計画的防災対策の整備・推進

- ・中央防災会議：防災基本計画
- ・指定行政機関、指定公共機関：防災業務計画
- ・都道府県防災会議：都道府県地域防災計画
- ・市町村防災会議：市町村地域防災計画
- ・市町村の居住者、事業者：地区防災計画

【市町村地域計画と地区防災計画の関係】



～ 目 次 ～

1	計画策定の趣旨	1
	(1) 計画の目的	
	(2) 計画の修正検討	
	(3) 計画の周知徹底	
2	計画の対象地区の範囲	2
3	基本的な考え方	6
	(1) 基本方針	
	(2) 活動目標	
	(3) 中長期的な活動計画	
4	地区の特性	
	(1) 地区の概要	8
	(2) 自然特性	9
	(3) 社会特性	16
5	防災活動の内容	
	(1) 防災活動の体制	19
	(2) 平常時の活動・事前の対策	26
	(3) 発災直前の活動	109
	(気象注警報発表・前兆現象の始まりから発災まで)	
	(4) 災害時の活動	111
	(5) 復旧・復興期の活動	115
	(6) 市、消防、他団体、ボランティア等との連携	115
	(平常時～復興まで)	
6	実験と検証	
	(1) 防災訓練の実施・検証	116
	(2) 防災意識の普及啓発	116
	(3) 計画の見直し	117
	(資料編)	
	南信濃地区自主防災会規約	119
	南信濃地区 備蓄資機材の3ヵ年整備計画	122
	和田小学校防災備蓄倉庫配備品一覧	123
	遠山中学校防災備蓄倉庫配備品一覧	125
	防災ハザードマップ	127

1 計画策定の趣旨

(1) 計画の目的

この計画は、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 42 条第 3 項の規定に基づき、飯田市南信濃地区に係る地震、風水害等の災害に備え、地区住民が共同して行う防災訓練、地区住民による防災活動に必要な物資及び資材の備蓄、災害が発生した場合における地区住民の相互の支援その他の当該地区における災害予防、災害応急対応、災害復旧対策を実施し、地区住民が相互に協力し、総合的かつ計画的な防災対策を推進することにより、地区住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とする。

(2) 計画の修正検討

この計画は、毎年検討を加え、必要があると認められるときは、これを修正し、常に有効な防災業務の遂行を図る。

(3) 計画の周知徹底

南信濃地区自主防災会の役員は、本計画の趣旨を尊重し、常に防災に関する教育及び訓練を実施して、本計画の習熟に努めるとともに、広く地区住民に対し周知徹底を図り、地区防災計画に寄与する。

2 計画の対象地区の範囲

平成 27 年 9 月末現在

地区（区数） 【人口・世帯数】	区（自治会数） 【人口・世帯数】	自治会（隣組数） 【人口・世帯数】 《自治会加入世帯数》
みなみしなの 南 信 濃 地 区（5） 【人口 1,576 人、世帯 759 世帯】	わだきょうほく 和 田 橋 北 区（8） 【人口 374 人、世帯 162 戸】	おしで 押 出 自治会（7） 【人口 114 人、世帯 41 戸】 《自治会加入世帯 38 戸》
		かみおおしま 上 大 島 自治会（3） 【人口 32 人、世帯 17 戸】 《自治会加入世帯 17 戸》
		しもおおしま 下 大 島 自治会（2） 【人口 27 人、世帯 10 戸】 《自治会加入世帯 9 戸》
		しっぺいじま 漆 平 島 自治会（3） 【人口 8 人、世帯 5 戸】 《自治会加入世帯 5 戸》
		いけぐち 池 口 自治会（3） 【人口 18 人、世帯 7 戸】 《自治会加入世帯 6 戸》
		しもしんまち 下 新 町 自治会（4） 【人口 55 人、世帯 24 戸】 《自治会加入世帯 23 戸》
		なかしんまち 中 新 町 自治会（5） 【人口 48 人、世帯 25 戸】 《自治会加入世帯 26 戸》
		かみしんまち 上 新 町 自治会（5） 【人口 72 人、世帯 33 戸】 《自治会加入世帯 29 戸》
		しもほんまち 下 本 町 自治会（3） 【人口 48 人、世帯 23 戸】 《自治会加入世帯 22 戸》
		なかほんまち 中 本 町 自治会（6） 【人口 87 人、世帯 39 戸】 《自治会加入世帯 32 戸》

<p>みなみしなの 南信濃地区(5) 【人口1,576人、世帯759世帯】</p>	<p>わだきょうなん 和田橋南区(11) 【人口733人、世帯359戸】</p>	<p>かみほんまち 上本町自治会(4) 【人口64人、世帯28戸】 《自治会加入世帯27戸》</p>
		<p>よがわせ 夜川瀬自治会(5) 【人口233人、世帯99戸】 《自治会加入世帯77戸》</p>
		<p>ひぐち 樋口自治会(2) 【人口36人、世帯13戸】 《自治会加入世帯13戸》</p>
		<p>やまはら 山原自治会(2) 【人口26人、世帯15戸】 《自治会加入世帯8戸》</p>
		<p>しょうわどおり 昭和通り自治会(3) 【人口117人、世帯88戸】 《自治会加入世帯20戸》 《高齢者共同住宅18戸》</p>
		<p>しもわだ 下和田自治会(2) 【人口26人、世帯12戸】 《自治会加入世帯12戸》</p>
		<p>しもいちば 下市場自治会(2) 【人口24人、世帯12戸】 《自治会加入世帯10戸》</p>
		<p>おのしま 尾之島自治会(2) 【人口43人、世帯18戸】 《自治会加入世帯18戸》</p>
		<p>まつじま 松島自治会(2) 【人口29人、世帯12戸】 《自治会加入世帯11戸》</p>
		<p>やえごうち 八重河内区(4) 【人口105人、世帯51戸】</p>
<p>うめだいら 梅平自治会(3) 【人口14人、世帯8戸】 《自治会加入世帯8戸》</p>		

	やえごうち 八重河内区(4) 【人口105人、世帯51戸】	かじや 梶谷自治会(一) 【人口2人、世帯1戸】 《自治会加入世帯1戸》
		このた 此田自治会(4) 【人口30人、世帯14戸】 《自治会加入世帯14戸》
	みなみわだ 南和田区(5) 【人口141人、世帯70戸】 ※万古は自治会組織なし	なごやまだいいち 名古屋山第一自治会(3) 【人口34人、世帯18戸】 《自治会加入世帯17戸》
		なごやまだいに 名古屋山第二自治会(2) 【人口41人、世帯19戸】 《自治会加入世帯17戸》
		とっばら 十原自治会(3) 【人口26人、世帯13戸】 《自治会加入世帯11戸》
		おおまち 大町自治会(3) 【人口25人、世帯12戸】 《自治会加入世帯10戸》
		いいじま 飯島自治会(3) 【人口14人、世帯7戸】 《自治会加入世帯5戸》
		まんご 万古 【人口1人、世帯1戸】 《自治会加入世帯0戸》
	きざわ 木沢区(8) 【人口219人、世帯113戸】	きざわ 木沢自治会(5) 【人口58人、世帯33戸】 《自治会加入世帯27戸》
		かわい 川合自治会(3) 【人口22人、世帯11戸】 《自治会加入世帯9戸》
		こどうき 小道木自治会(3) 【人口18人、世帯9戸】 《自治会加入世帯8戸》
		ようかいちば 八日市場自治会(4) 【人口39人、世帯17戸】 《自治会加入世帯17戸》
みなみしなの 南信濃地区(5) 【人口1,576人、世帯759世帯】		

みなみしなの 南 信 濃 地 区 (5) 【人口 1,576 人、世帯 759 世帯】	き ざ わ 木 沢 区 (8) 【人口 219 人、世帯 113 戸】	か み じ ま 上 島 自治会 (5) 【人口 36 人、世帯 18 戸】 《自治会加入世帯 19 戸》
		か み な か ね 上 中 根 自治会 (一) 【人口 11 人、世帯 7 戸】 《自治会加入世帯 7 戸》
		し も な か ね 下 中 根 自治会 (2) 【人口 20 人、世帯 9 戸】 《自治会加入世帯 7 戸》
		す ざ わ 須 沢 自治会 (3) 【人口 15 人、世帯 9 戸】 《自治会加入世帯 5 戸》
	学 校 【人口 4 人、世帯 4 戸】	南信濃在住地区内小中学校 教職員 【人口 4 人、世帯 4 戸】 《自治会加入世帯 0 戸》

3 基本的な考え方

(1) スローガン

『三日間 みんなで 助け合おう！』

(2) 基本方針

- ・ 平常時及び災害時における地域防災力を高めることにより、地域コミュニティを維持・活性化すること。
- ・ これらを実現するために、地域に暮らす住民一人ひとりが協力して防災活動をはじめとした協力体制を構築する。
- ・ 平時から関係する団体と地域が一体となって、目標に向けて連携体制を構築する。

(3) 活動目標

ア 平常時の目標

- ・ 災害時の避難場所や情報入手方法を知っている割合を平成 31 年までに 80%を目指す。
- ・ 家具の転倒防止を行っている割合を平成 31 年までに 60%を目指す。
- ・ 7 日分以上の食料や水の備蓄を行っている割合を平成 31 年までに 80%を目指す。
- ・ 火災報知機の設置割合を平成 31 年までに 60%を目指す。
- ・ 防災リーダーの育成と自主防災組織の継続した活動を推進する。
- ・ 消防団、赤十字奉仕団と自主防災組織との連携・役割等を明確にし、災害時の活動をする。

イ 地震

- ・ 地震による犠牲者をゼロにするため、家具の転倒防止とガラスの飛散防止を全世帯で実施する。
- ・ 3 分、3 時間、3 日間を自助・共助で乗り切る。

ウ 土砂災害・浸水害

- ・ 土砂災害による犠牲者をゼロにするため、土砂災害特別警戒区域居住者への情報伝達を 10 分以内、避難を 30 分以内に行う。
- ・ 30 分以内で行う警戒態勢確立・避難情報伝達・事前避難完了

エ 雪害

- ・ 大雪に伴う救急搬送の遅れや消火活動の遅滞といった事態にならない、通常なら助かる命が大雪でも守られる地区における除雪態勢の構築

(3) 中長期的な活動計画

- ・ 応急避難施設のうち、地区の所有する「木沢地区会館」、「八重河内地区館」及び「名古屋山第一集会所」の耐震診断を検討する。
- ・ 応急避難施設である「南信濃老人福祉センター」については、耐震診断が未実施であるため、施設管理者である市に対して耐震診断を要望する。また、診断の結果、改修の必要が認められる場合は、早期の改修を実施するよう要望する。
- ・ 地域避難計画を策定する。
- ・ 避難行動要支援者に対する個別避難支援計画を策定する。
- ・ 地域コミュニティ（自主防災会等）への全住民の加入促進を実施する。
- ・ 防災リーダーの養成の研修等を実施し、自主防災組織の円滑化を図る。
- ・ 備蓄資機材及び備蓄食糧の年次整備計画を定め、計画的な整備を進める。
- ・ 超高齢化社会（高齢化率 55%超）にある当地区において、避難行動要支援者が増加しないよう、特に高齢者の健康推進を関係機関と協働して実施する。
- ・ 人口減少、少子高齢化、限界集落といった当地区の課題に対し、防災面からの集落再編等を検討する。

4 地区の特性

(1) 地区の概要

ア 地域

本地域は、飯田市の南端、赤石山脈、伊那山脈の山峡に位置し、東西 27 km、南北 19 km、総面積は 206.90k m²で、北東は上村地区、北西は竜東地域及び泰阜村、南西に天龍村、そして南東は静岡県に接している。

イ 地勢

地勢は、総体的に西下りとなっており、海拔は 350m から 3,013m (中心部 420m)、森林面積 96.7%、経営耕地面積 0.5% の山村地域で、東に兎岳 (2,818m)、聖岳 (3,013m)、光岳 (2,591m)、南に熊伏山 (1,653m)、西に黒石岳 (1,376m) と、2,000 から 3,000m 級の山々が連なり、これらの山麓が遠山川及びその支流を挟んで複雑に起伏する V 字状の谷を作っている。

遠山川流域の僅かな平坦地に中心集落があり、これらを取り巻くように支流域や比較的傾斜の緩やかな山腹に耕地が拓かれ、人家が点在し、36 の自治集落が形成されている。

ウ 気候

気候は、内陸性の気候に東海型、山岳型の気候が加わり、日中は、高温になるが朝夕は気温が低く、日較差や年較差が大きい。また、冬期は、比較的暖かく、夏期は、雨量が多いなど、表日本型の気候である。年平均気温 12.6℃、平均最高気温 19.3℃、平均最低気温 7.8℃、年平均雨量 1,814 mm である。

エ 地形地質

南信濃地区の中央構造線は、西側は鹿塩マイロナイトと呼ばれる断層によって圧砕された岩質であり、非常に硬いがもろい性質を持ち、急傾斜面になっている。これに対し東側では、蛇紋岩と呼ばれる崩壊しやすい岩質や、三波川・みかぶ態と呼ばれる地すべりが生じやすい地質などが複雑に分布する。

地区内には、中央構造線などの活断層が分布しており、これらの活断層は地震発生源であることに加え、断層破砕帯の発達により土砂の供給源となるなど、災害発生の原因となっている。また、地区内を流れる遠山川及び上村川は一級河川にも指定されており、洪水等の災害が生じやすい。

この他にも周辺には多くの活断層があり、さらに東海地震の震源地から 100 km 圏内に位置しているため、地震の被害を受けやすい地域である。

オ 交通

隣接する地域との交通は、国道 152 号により上村地区、国道 418 号により天龍村、

市道南信濃 156 号線により静岡県浜松市に通じている。飯田市街地には、上村地区から三遠南信自動車道矢筈トンネルを経て喬木村を通る経路（40 km、自動車所要時間 1.0 時間）と、天龍村を経て阿南町、下條村を通る経路（42 km、自動車所要時間 1.5 時間）の 2 路線と J R 飯田線（飯田駅～平岡駅・所要時間約 2 時間、平岡～南信濃和田間 12 km・バス 25 分）を利用する経路がある。

カ 人口

当地区の人口は、昭和 30 年の 6,563 人（国勢調査）をピークにその後は、減少の一途をたどり、平成 28 年 2 月末現在の住民基本台帳では、1,549 人となっている。

年齢 3 区分別人口では、0～14 歳の年少人口が、昭和 35 年の 2,273 人から平成 28 年 2 月末では、110 人、15 歳～64 歳の生産年齢人口が、昭和 35 年の 3,376 人から平成 28 年 2 月末では、551 人と大きく減少している。一方 65 歳以上の高齢者人口は、昭和 35 年 417 人から平成 28 年 2 月末の 888 人と大きく増加しており、平成 28 年 2 月末の高齢化率は、61.32%で、当地区は、過疎化に加え、高齢化の進行による社会の活力の低下が懸念され、防災の面においても同様に、避難行動要支援者の増加や地区住民の協力体制への影響も懸念される。

(2) 自然特性

ア 当地域で予測される自然災害

発生有無	災害の種類	発生時期	集 落 名 等
○	地震による家屋倒壊 (1 割以上)	地震発生時	全域
○	地震による火災延焼 (1 箇所あたり 10 戸以上)	地震発生時	住宅密集地 【和田橋北区】 下新町・中新町・上新町 【和田橋南区】 下本町・中本町・上本町 【木 沢 区】 木沢
○	地震によるがけ崩れ	地震発生時	全域
×	地震によるため池決壊		
○	地震による河道閉塞	地震発生時	全域（遠山川及びその支流）
×	地震による液状化現象		
○	土石流	降雨時、地震による河道閉塞（天然ダム）が生じた場合のダム決壊時	全域（遠山川及びその支流） 特に土石流が発生した場合に危害生じる恐れがあると認められる土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）及び浸水想定区域

発生有無	災害の種類	発生時期	集 落 名 等
○	がけ崩れ	降雨時、 地震発生時	全域 特に急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、危害が生じる恐れがあると認められる土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）及び急傾斜地法に基づく急傾斜地崩落危険箇所
○	地すべり	降雨時、 地震発生時	全域 特に地すべり災害として指定されている土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）及び土砂災害警戒区域（イエローゾーン）
○	浸水害（外水はん濫）	降雨時	1 浸水想定区域 【和田橋北区】 下新町・中新町・上新町 【和田橋南区】 下本町・樋口・昭和通り・ 下市場 【南和田区】 名古屋第一・名古屋第二・ 大町 2 土砂災害警戒区域（土石流） 【和田橋北区】 押出・下新町・池口 【和田橋南区】 下本町・上本町・夜川瀬・ 樋口・山原・下市場 【八重河内区】 本村・梅平・ 此田（小嵐川流域） 【南和田区】 名古屋第一・名古屋第二・ 十原（屋形戸）・大町・飯島 【木 沢 区】 木沢・小道木・上島・ 八日市場
×	浸水害（内水はん濫）		
○	大雪 （積雪深 30 cm以上）	降雪時	全域
○	大規模山林火災	落雷時	全域

イ 災害発生予測場所における集落・世帯数等一覧

※災害発生危険区域などを示した防災ハザードマップは、資料編防災ハザードマップ (P127～134) を参照

※災害発生予測場所における居住者・集落等の一覧は、別途作成し保管する。

(ア) 土砂災害防止法関係

a 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域。通称：レッドゾーン

災害種類	地区	集落名	居住世帯数 (居住者数)	防災ハザード マップNo.	備考
土石流	和田橋北区	池口	区域内居住者なし	6	
		下新町	区域内居住者なし	7	
	和田橋南区	上本町	区域内居住者なし	7	
		下和田	区域内居住者なし	7	
		下市場	区域内居住者なし	7	
	八重河内区	本村	区域内居住者なし	8	
		梅平	区域内居住者なし	8	
	南和田区	大町	区域内居住者なし	9	
		飯島	区域内居住者なし	9	
	木沢区	木沢	区域内居住者なし	5	
		八日市場	区域内居住者なし	3・5	
	急傾斜地	和田橋北区 17戸37人	押出	2(4)	7
上大島			3(5)	6	
下大島			3(5)	6	
池口			3(6)	6	
上新町			2(5)	7	
中新町			0(0)	7	
下新町			4(12)	7	
和田橋南区 36戸92人		下本町	1(2)	7	
		夜川瀬	11(34)	7	
		樋口	1(2)	7	
		山原	6(14)	7	
		昭和通り	4(9)	7	
		下和田	2(4)	7	
		下市場	1(2)	7	
		尾の島	3(9)	7	
八重河内区 20戸45人		松島	7(16)	7	
		本村	18(41)	8	
		梅平	1(2)	8	
		梶谷	1(2)	8	
南和田区 12戸25人		此田	区域内居住者なし	10	
		名古屋山第一	2(4)	9	
		名古屋山第二	2(6)	9	
		十原	2(3)	7・9	屋形戸含む
		大町	1(2)	9	
		飯島	4(9)	9	
		万古	1(1)	—	

災害種類	地区	集落名	居住世帯数 (居住者数)	防災 ハザード マップNo.	備考
急傾斜地	木沢区 28戸55人	木沢	6 (11)	5	
		川合	1 (1)	5	
		小道木	1 (3)	5・6	
		八日市場	3 (8)	3・5	
		上島	6 (9)	5	
		上中根	1 (2)	4	
		下中根	4 (9)	5	
		須沢	6 (12)	4	
地すべり			現在区域指定なし		

b 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害のおそれのある区域。通称：イエローゾーン

災害種類	地区	集落名	居住世帯数 (居住者数)	防災ハザード マップNo.	備考
土石流	和田橋北区	押出	32 (83)	7	
		下新町	2 (3)	7	
	和田橋南区	下本町	5 (7)	7	
		夜川瀬	32 (60)	7	
		樋口	12 (28)	7	
		山原	1 (3)	7	
		下和田	1 (2)	7	
	八重河内区	本村	4 (11)	8	
		梅平	1 (2)	8	
	南和田区	名古屋山第一	1 (4)	9	
		名古屋山第二	9 (13)	9	
		十原	1 (1)	7・9	屋形戸
		大町	3 (5)	9	
		飯島	1 (2)	9	
	木沢区	木沢	26 (48)	5	
		八日市場	4 (8)	3・5	
上島		2 (3)	5		
急傾斜地	和田橋北区	押出	17 (57)	7	
		上大島	6 (13)	6	
		下大島	6 (19)	6	
		池口	2 (4)	6	
		上新町	9 (22)	7	
		中新町	17 (29)	7	
		下新町	6 (8)	7	
	和田橋南区	上本町	区域内居住者なし	7	
		中本町	8 (24)	7	
		下本町	13 (21)	7	
		夜川瀬	30 (76)	7	
		樋口	7 (17)	7	
		山原	4 (7)	7	
		昭和通り	7 (16)	7	
下和田	9 (20)	7			
	下市場	7 (15)	7		

災害種類	地区	集落名	居住世帯数 (居住者数)	防災 ハザード マップNo.	備考
急傾斜地	和田橋南区	尾の島	9 (20)	7	
		松島	4 (6)	7	
	八重河内区	本村	5 (6)	8	
		梅平	4 (7)	8	
		梶谷	区域内居住者なし	8	
		此田	3 (5)	10	
	南和田区	名古屋山第一	3 (7)	9	
		名古屋山第二	4 (12)	9	
		十原	1 (2)	7・9	屋形戸含む
		大町	4 (8)	9	
		飯島	区域内居住者なし	9	
	木沢区	木沢	15 (30)	5	
		川合	2 (4)	5	
		小道木	6 (12)	5・6	
		八日市場	3 (13)	3・5	
		上島	7 (9)	5	
		上中根	区域内居住者なし	4	
		下中根	4 (9)	5	
須沢		区域内居住者なし	4		
地すべり	和田橋北区	上大島	6 (13)	6	
		下大島	10 (27)	6	
		池口	1 (2)	6	
		上新町	31 (66)	7	
		中新町	16 (29)	7	
		下新町	4 (9)	7	
	和田橋南区	上本町	21 (47)	7	
		中本町	24 (56)	7	
		下本町	1 (1)	7	
		夜川瀬	9 (13)	7	
		山原	7 (10)	7	
		下市場	2 (3)	7	
	八重河内区	本村	20 (43)	8	
		梅平	9 (15)	8	
		此田	15 (36)	8	
	南和田区	名古屋山第一	16 (26)	9	
		名古屋山第二	6 (9)	9	
		十原	1 (1)	7・9	屋形戸
	木沢区	木沢	17 (38)	5	
		川合	7 (18)	5	
		八日市場	12 (22)	3・5	
上島		9 (21)	5		
須沢		5 (11)	4		

(イ) 水防法関係

浸水想定区域

災害種類	地区	集落名	居住世帯数 (居住者数)	防災ハザード マップNo.	備考
水深0.5m 未満	和田橋北区	下新町	1 (3)	7	
	和田橋南区	下本町	7 (9)	7	
		昭和通り	32 (108)	7	特養・高齢者住宅含む
水深0.5m ～1.0m	和田橋南区	昭和通り	11 (69)	7	
		下市場	3 (5)	7	
水深1.0m ～2.0m	和田橋北区	上新町	指定区域内 居住者なし	7	
		中新町		7	
	和田橋南区	昭和通り		7	
	南和田区	大町		9	
水深2.0m ～5.0m	和田橋北区	上新町	2 (3)	7	
	南和田区	名古山第一	指定区域内 居住者なし	7・9	
水深5.0m 以上			現在指定なし		

ウ 土砂災害警戒区域等にある要援護者施設

災害種類	所在地	施設名	施設の種類	援護者数	防災ハザード マップNo.	
土砂災害特別 警戒区域 (イエローゾーン)	土石流 地すべり 急傾斜地	南信濃木沢 (木沢)	南信濃福祉企業 センター木沢分場	授産施設	—	5
	地すべり	南信濃和田 (上新町)	和田保育園	児童福祉施設	29	7
	土石流 地すべり	南信濃和田 (上本町)	南信濃老人福祉 センター	老人福祉施設	不定	7
	急傾斜地	南信濃和田 (夜川瀬)	グループホーム 和田の家	認知症対応型共 同生活介護施設	9	7
	急傾斜地	南信濃和田 (昭和通り)	特別養護老人ホ ーム遠山荘	介護老人 福祉施設	50	7
土砂災害特別 警戒区域 (レッドゾーン)	急傾斜地	南信濃和田 (上本町)	南信濃老人福祉 センター	老人福祉施設	不定	7

エ 浸水想定区域内用配慮者施設

河川の 名称	所在地	施設名	施設の 種類	援護者数	防 災 ハザード マップNo.
遠山川	南信濃和田 (上新町)	和田保育園	児童福祉施設	29	7
		特別養護老人ホーム遠山荘	介護老人福祉施設	50	7
	南信濃和田 (昭和通り)	南信濃高齢者共同住宅	老人福祉施設	19	7
		南信濃障害者等活動支援センター	障害福祉施設	—	
		南信濃デイサービスセンター	通所介護施設	不定	
		南信濃福祉企業センター	授産施設	—	

オ 過去の災害

いつ	災害名	場所	被害状況
714年	遠江地震	南信濃和田	大規模な山崩れによる遠山川及び池口川の河道閉塞
1716年1月	大洪水災害	不明	不明
1717年7月18日	大地震	不明	三蔵院埋没
1718年7月26日	遠山地震	南信濃和田	盛平山の山崩れによる遠山川の河道閉塞、龍湫寺諸堂崩落(死者5人)
1718年8月15日	大洪水災害	不明	大洪水(遠山の田畑1/3被害)
1726年11月	大洪水災害	不明	不明
1731年4、8、9月	大洪水災害	不明	不明
1868年(明治元年)7月2日	大洪水災害	不明	不明
1897年(明治30年)9月	大洪水災害	遠山川流域	不明
1919年(大正8年)10月1日	新町大火	南信濃和田	全焼53戸、半焼7戸 重傷1名
1922年(大正11年)1月27日	本町大火	南信濃和田	全焼43戸
1922年(大正11年)7月5日	遠山川洪水	南信濃和田	大雨と森林伐採流木による耕地流失と冠水
1930年(昭和5年)9月11日	木沢大火	南信濃木沢	全焼24戸
1934年(昭和9年)1月17日	八重河内小学校火災	南信濃八重河内	八重河内小学校全焼
1934年(昭和9年)9月21日	室戸台風災害	不明	不明
1938年(昭和13年)7月1日	大豪雨災害	不明	人家数戸流出 死者3名
1945年(昭和20年)10月4日	枕崎台風災害	遠山川流域	人家17戸流出 死者1名
1948年(昭和23年)6月19~20日	集中豪雨災害	遠山川流域	不明
1950年6月11日(昭和25年)	豪雨災害	遠山川流域	不明
1953年(昭和28年)7月19日	キテイ台風災害	遠山川流域	消防団員2名殉職
1959年(昭和34年)9月26日	伊勢湾台風災害	遠山川流域	洪水 災害救助法適用
1961年(昭和36年)6月26日	梅雨前線集中豪雨災害(36災)	遠山川流域	大町11戸流出 八重河内小学校前堤防決壊

いつ	災害名	場所	被害状況
1965年（昭和40年） 9月17日	24号台風災害 （40災）	遠山川流域	遠山川堤防決壊 遠山中学校、和田病院、授産所、 八重買河内小学校運動場・プー ル等流出。民家全壊流出53戸、 半壊床上床下浸水90余戸 中橋、中央橋、押出橋流出 激甚地災害救助法適用
1968年（昭和43年） 8月29日	10号台風災害	遠山川流域	不明
1982年（昭和57年） 7月30日～8月1日	10号台風災害	遠山川流域	南信濃南和田道路決壊等
1983年（昭和58年）	豪雨災害	遠山川・ 上村川	木沢梨元貯木場決壊 死者1名
1989年（平成元年） 9月	豪雨災害	南信濃木沢	床下浸水
1998年（平成10年） 10月1日	秋雨前線豪雨災害	南信濃木沢 （須沢）	大規模地滑り災害 避難勧告発令7世帯11人
2001年（平成13年） 1月27日	大雪災害	南信濃全域	全地域停電、全地域倒木多数
2010年（平成22年） 7月12～14日	豪雨災害	南信濃全域	道路関係：土砂崩落38箇所、 路肩決壊18箇所、道路陥没1 箇所河川関係：土砂堆積11箇 所、洗掘1箇所農業施設：水路 埋没10箇所、農地土砂崩落6 箇所住宅関係：床下浸水2軒、 床上浸水2軒、土砂流入2軒 工場関係：土砂流入1軒
2011年（平成23年） 8月6日	集中豪雨災害	南信濃和田	国道152号土砂流出

（3）社会特性

ア 当地域で発生が予想される人為災害

発生有無	災害の種類	発生時期	集落名等
○	長時間停電	強風、降雨、大雪、 地震、大規模火災、 交通事故発生時、工 事等による断線、航 空事故発生時	全域または地域の一部
○	電話不通	強風、降雨、大雪、 地震、長時間停電、 大規模火災、交通事 故発生時、工事等に よる断線、航空事故 発生時	全域または地域の一部

○	テレビ不視聴 (ケーブルテレビ)	強風、降雨、大雪、地震、長時間停電、大規模火災、交通事故発生時、工事等による断線、航空事故発生時	全域または地域の一部
○	水道断水	地震、土砂災害、長時間停電、工事等による本管破損、	全域または地域の一部
○	道路寸断による地域全体の孤立 (主要道路が寸断された場合)	土砂災害、大雪、地震、大規模な交通事故発生時	全域が孤立
○	道路寸断による集落の孤立 (地域内各地で道路が寸断された場合)	土砂災害、地震、大雪、交通事故発生時	各集落が孤立の可能性あり
○	放火、不審火、たき火等による火災延焼 (1箇所あたり10戸以上)	放火、不審火、たき火等による火災発生時	【和田橋北区】 下新町・中新町・上新町 【和田橋南区】 下本町・中本町・上本町 【木沢区】 木沢
○	大規模山林火災	放火、不審火、たき火等による火災発生時、航空事故発生時	全域

イ 集落別高齢化率と生産年齢人口

(平成28年2月末現在)

集落名	人 口	平均年齢	高齢化率		生産年齢人口	
			65歳以上 人 口	高齢化率	人 口	割 合
押出	112 人	46.56 歳	38 人	33.93 %	51 人	45.54 %
上大島	30 人	67.63 歳	19 人	63.33 %	11 人	36.67 %
下大島	29 人	55.45 歳	14 人	48.28 %	10 人	34.48 %
漆平島	8 人	76.50 歳	6 人	75.00 %	2 人	25.00 %
池口	17 人	61.41 歳	9 人	52.94 %	8 人	47.06 %
下新町	55 人	60.56 歳	30 人	54.55 %	24 人	43.64 %
中新町	50 人	67.54 歳	38 人	76.00 %	10 人	20.00 %
上新町	67 人	62.99 歳	43 人	64.18 %	21 人	31.34 %
和田橋北 計	368 人	58.25 歳	197 人	53.53 %	137 人	37.23 %
下本町	48 人	61.08 歳	29 人	60.42 %	16 人	33.33 %
中本町	85 人	60.54 歳	50 人	58.82 %	29 人	34.12 %
上本町	64 人	63.31 歳	40 人	62.50 %	19 人	29.69 %
夜川瀬	234 人	47.82 歳	77 人	32.91 %	120 人	51.28 %
樋口	31 人	59.00 歳	16 人	51.61 %	14 人	45.16 %
山原	26 人	63.92 歳	17 人	65.38 %	8 人	30.77 %
昭和通り	115 人	73.59 歳	86 人	74.78 %	24 人	20.87 %
下和田	26 人	65.96 歳	18 人	69.23 %	8 人	30.77 %
下市場	22 人	57.91 歳	13 人	59.09 %	7 人	31.82 %
尾之島	43 人	55.81 歳	21 人	48.84 %	21 人	48.84 %
松島	29 人	55.93 歳	16 人	55.17 %	8 人	27.59 %
和田橋南 計	723 人	58.50 歳	383 人	52.97 %	274 人	37.90 %
本村	59 人	66.32 歳	38 人	64.41 %	18 人	30.51 %
梅平	15 人	75.00 歳	13 人	86.67 %	2 人	13.33 %
梶谷	2 人	77.00 歳	2 人	100.00 %	0 人	0.00 %
此田	29 人	65.07 歳	18 人	62.07 %	10 人	34.48 %
八重河内 計	105 人	67.42 歳	71 人	67.62 %	30 人	28.57 %
名古屋山第一	34 人	74.12 歳	25 人	73.53 %	9 人	26.47 %
名古屋山第二	41 人	64.37 歳	26 人	63.41 %	12 人	29.27 %
十原	26 人	69.27 歳	21 人	80.77 %	5 人	19.23 %
大町	24 人	69.88 歳	16 人	66.67 %	8 人	33.33 %
飯島	14 人	69.21 歳	6 人	42.86 %	8 人	57.14 %
万古	1 人	76.00 歳	1 人	100.00 %	0 人	0.00 %
南和田 計	140 人	69.16 歳	95 人	67.86 %	42 人	30.00 %
木沢	55 人	68.93 歳	34 人	61.82 %	21 人	38.18 %
川合	21 人	62.48 歳	11 人	52.38 %	10 人	47.62 %
小道木	15 人	57.80 歳	10 人	66.67 %	5 人	33.33 %
八日市場	38 人	69.47 歳	24 人	63.16 %	14 人	36.84 %
上島	39 人	65.46 歳	25 人	64.10 %	13 人	33.33 %
上中根	11 人	77.45 歳	10 人	90.91 %	1 人	9.09 %
下中根	20 人	67.55 歳	15 人	75.00 %	3 人	15.00 %
須沢	14 人	81.00 歳	13 人	92.86 %	1 人	7.14 %
木沢 計	213 人	68.07 歳	142 人	66.67 %	68 人	31.92 %
学校	0 人		0 人	0.00 %	0 人	0.00 %
南信濃 合計	1,549 人	61.32 歳	888 人	57.33 %	551 人	35.57 %